

令和6年度（大和高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	教育公務員としての自覚を持ち、信用失墜行為を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・綱紀保持通知等の事例を通して、朝の打ち合わせや職員会議等で、職員全体に注意喚起を図った。 ・職員啓発資料等を用いて、職員の法令遵守意識の向上を図ることで未然に防止できた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員一人ひとりがパワハラ、セクハラ、マタハラ等について意識を高め、未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施や不祥事防止研修の中で、自分自身の行動を振り返ることで未然防止につなげた。 ・職場における適切なコミュニケーションを心掛け、相談しやすい環境を作ることで未然防止を図った。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為について当事者意識をもって取り組み、未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒とのSNSの禁止を徹底するとともに、部活動等で生徒と連絡を取る際には、教員はもとより部活動インストラクターにもアカウントを発行し、Google Classroomを利用するように徹底した。やむを得ず携帯電話番号を収集する場合は、理由と最低限度の人数であることを確認し、所定の申請書を用い、管理した。
体罰、不適切な指導の防止	体罰と不適切指導の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・複数顧問での指導、管理体制の中での日常的な観察と、生徒からのアンケート実施をすることで未然防止できた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜業務において、公平かつ公正に選抜業務を行い、事故を未然に防止する。 ・定期試験問題の作成・管理及び成績処理に係る事故を未然に防止する。 ・調査書・推薦書等、進路関係書類の作成・発行に係る事故を未然に防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜においては、過去のヒヤリハット事例を共有しながら、事故防止の徹底を図った。出願システムについても、事前の入念な準備を行い、事故なく業務を遂行できた。 ・定期試験の問題作成、成績処理については、複数によるチェック体制を徹底し、ミスの未然防止に努めた。 ・調査書作成マニュアルの検証を行うとともに、推薦業務や、進路書類の作成、出願指導における手順や注意点を周知し、複数のチェック体制で適正な処理を行った。
個人情報等管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適切な取扱いに努め、個人情報の流出を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教務手帳専用の保管庫を設置し、各職員がカギによる管理を行えるようにした。また、出席簿等の管理については定期的にチェックした。 ・個人情報の持ち出しは管理職の許可を受けた上で行い、持ち出し簿による管理を徹底した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故の発生、酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止研修会において、飲酒や交通事故に係るヒヤリハット事例を紹介することで、職員に注意喚起を行い、事故防止につなげた。

業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	作業プロセスの簡素化・効率化、文書や電子ファイルの共有化と引継ぎの徹底を図り、未然に事故を防止する。	・各グループ、学年等で業務改善を進め、業務のマニュアル化や効率化を図り、次年度への引継ぎがうまくいくよう整備した。また、職員会議資料を電子化することで業務を簡素化できた。
財務事務等の適正執行	会計事務処理を適正に行い、事故を未然に防止する。	・適切な私費会計を遂行することができた。ネットバンキングを導入し、現金の取扱いは必要最小限にとどめ、事故のないよう管理することができた。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

令和6年度不祥事ゼロプログラムに基づいて研修・啓発活動等を実施し、概ね目標を達成することができた。不祥事防止研修会では、管理職の過去に経験した事例紹介や、教員自らによるヒヤリハット事例の紹介など身近な話題が多く、その原因や状況を共有できることから、職員一人ひとりの「当事者意識」を高めることができた。結果、学校全体における不祥事の未然防止に大いに役立った。

県全体での不祥事が絶えない現状であるが、自校からは不祥事を絶対に出さないという固い決意をもって、次年度も実施責任者として副校長、教頭、事務長及び総括教諭とともに企画会議を中心とした不祥事防止会議により、不祥事ゼロめざして職員への啓発・指導を図っていきたい。